

電子版で朝刊読めます

スマホで！タブレットで！パソコンで！紙面を丸ごと読むことができるサービス、「どうしん電子版」！**購読料プラス 0円**

「どうしん電子版」は、道新を月決め料で定期購読している方なら、無料で登録できる電子版会員限定のサービスです。



お問い合わせは 0120-889-104

令和初の一学期終業式が終わり、子ども達が、誰一人として命を落とすことなく夏休みを迎えられたことに安堵と感謝の気持ちでいっぱいです。

今年一月、野田市小学4年生虐待死事件。虐待事件は後を絶たず、五月、川崎市のスクールバス乗り場での十九名殺傷事件。小学生と保護者の二名が死亡。

京都アニメーション第1スタジオ放火殺人事件。三十四名が死亡。報道を見るたび暗い気持ちになり、どんな世の中がひどくなっているように感じます。しかし、本当にそうなのでしようか？

あるテレビ番組の中で特集されていた『フアクトフルネス』という本によると、実は世の中は思っているほど悪い方向に進んでいるわけではなく、具体的な数字で見ると、人類は戦争や災害、貧困や格差という課題を少しずつ克服しつつあり、改善に向かっていっているそうです。



「世の中は悪くなってきているのか？」
新得町立屈足南小学校長 高 充慶



しかし、瞬時に大勢に伝わる報道やネットの普及等によって、以前よりひどくなったという人々の思い込みが起り、現状を正しく認識するのを妨げている、というものでした。

実際、日本国内では、殺人の認知件数が一番多かったのは昭和二十九年の約三千件、傷害では昭和三十三年の約七万件で、平成二十九年の殺人認知件数約九百件、傷害件数約二万件と比べると、どれだけ減ったかは一目瞭然で、世の中は悪くなっていません。

ほとんとすると、ただ、この結果が生まれたのは、自然とそうならなかったわけではなく、日々の努力があったからこそと私は思います。

屈足地区では、駐在所はもちろんな、防犯協会・報徳クラブをはじめとした地域の見守り活動が続けられています。そうすることで、より安全が保たれ、犯罪が減っていくことにつながります。

つまり、そういった思いや活動が続く限り、この世の中は決して悪くならないのです。

本

当販売所では様々なジャンルの書籍、雑誌、文庫、新書、週刊誌の定期購読など、ほとんど全ての出版物を確実に取り扱い寄せています。欲しい本をお取り寄りください！

せ！
気軽にお問い合わせください。通販は送料が掛りますが、当販売所は無料です。*当店取り置きとなります。宅配サービスは致しません。

送料無料

じじら屈足駐在所



佐藤和典 巡査部長

「レジャー時の事故防止について」

夏休みを始め本格的なレジャー・シーズンとなります。登山や釣り、キャンプやポート、サイクリングなど屈足地区でも様々なレジャーを楽しむ時期です。今年、8名の方が亡くなった2009年7月のトムラウシ山遭難事件から10年が経ち、今一度、登山や海水浴、レジャーに対する安全意識について考えましょう。

天候や体調に気を付け、無理な登山をしない。登山届けを必ず警察等に提出する。単独での登山を控える。熊避けの鈴や、熊撃退スプレーを持参する。遭難、事故防止に備え、携帯電話やGPS機器等を所持する。非常食、応急用具を用意する。非常食、応急用具を注意する。非常食、応急用具を注意する。非常食、応急用具を注意する。非常食、応急用具を注意する。



道新七月号のポケットブックの御案内です。



▼ポケットブック7月号は賢く、楽しく、節約生活

加奈子は急に二軒ある下宿屋を尋ねてみた。出来れば借金もしてこようと思った。毎月、月末になると帳簿と現金をマンションまで持って来てくれるのが常だったが、この半年、一度も来ていない。

東四条にある下宿は部屋の半分が真っ暗だった。師走と言っても未だ中日を過ぎたばかりだ。帰省するには早すぎると加奈子は思った。

「いるかい？わ・た・し」

玄関先で二度程よんだ時、管理を頼んでいる容子が着物の襟を直しながら小走りに出て来た。目元が少しうるんでいる。

「あら、突然、どうなさったの・四、五日したら私、伺（うかが）おうと思っっていましたのに・それと大家さんに御相談もありますよ」

茶の間を気にして喋（しゃべ）る容子の声がだんだん小さくなった。

容子も子供一人を持つ未亡人である。去年の夏、金銭の事でちよつとしたいざこざがあり、管理人を止めさせた時、タイミングよく尋ねて来て助けてくれと両手を合わせ、哀願した女だった。それがどうも、もう男がいる気配だ。女の勘で加奈子はそう思った。

連続小説

加奈子

赤池武臣

<完>

ねっとわーく屈足

検索

ねっとわーく屈足電子版ミニコミ紙「ねっとわーく屈足」が、パソコンやスマートフォンで動画も閲覧できます。ツイッターも屈足の話一杯毎日更新！

じじ-akira1942

検索

「阿呆ツ、誰に食わさしてもらってるんだ。本当に：勝手な真似しきって」

加奈子は上気した容子の顔を思い出し、吐き出すように呟いた。

もう一軒、行くはずの気持ちも萎えてしまった加奈子はきびすを返し、いま来た路を急いで。

ジグザグの調子が、両側に並ぶ否々から道路まではみだし、背中を丸め、足ばやに通る過ぎる加奈子の耳に空虚に響いた。

完